



20 鯨 建 第236号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

鯨ヶ沢町長 長谷川 兼



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことについて、別紙の通り提出します。

担 当 建設管財課 工 藤

電 話 0173-72-2111

内線 420

① 道路行政全般について改善すべき点・要望や提案など

青森県鯉ヶ沢町

道路は、豊かな生活を支える最も基本的な社会資本として国土の均衡ある発展と地域連携、自立による多極型国土の形成を図るため、欠くことのできない重要な基盤施設であり、その整備は全国民が等しく熱望しているものとする。このことからしても、未だその整備が十分でない地方においてはなおさらその必要性を痛感しているところである。

平成18年12月8日閣議決定された「道路特定財源の見直しに関する具体策」においては、「～真に必要な道路整備は計画的に進めることとし～」としていることから、受益者負担という創税の趣旨を十分に尊重し、必要な財源の確保を図り地方の道路整備の促進をお願いする。

②－１ 地域の現状と抱える課題

青森県鯉ヶ沢町

現 状	課 題
１．道路ネットワーク関連 基幹産業である農林漁業においては、気象条件や農林水産物の価格の状況がそのまま町経済の好・不況の影響を与えている。このためスイカ・メロン・トウモロコシ等の畑作の奨励やサケ・ヒラメ・ハタハタ等の放流事業を推進している。 第二次産業においては、食料品加工・縫製・電子部品組立てが主なもので、雇用の形態は女性型が主となっている。また、生産額はこれまで建設業の占める割合が大きかったものの公共投資の伸びが年々減少傾向にあり厳しい状況に置かれている。 このような産業構造に起因し、企業の賃金体系や厚生福祉等で都市圏との格差が大きいなど魅力のある雇用の場が少ないことなどから若年層を中心とした人材の流失が進んでおり、これが地域の活性化の大きなリスクとなっている。 このことから、観光産業の拡充、新たな産業の誘致や創出など産業構造の高度化が早急に求められている状況にある。	流通・販売体制の充実や企業誘致の推進、また、観光振興を図る上では首都圏と直結する津軽自動車道といった高規格幹線道路をはじめ主要都市間を結ぶ質の高い道路網の整備や七里長浜港の早期完成が待たれている。

②-1 地域の現状と抱える課題

青森県鯺ヶ沢町

現 状	課 題
2. 防災関連 当町の広域的な幹線道路としての機能を果たしているのが海岸線を走る国道101号であるが、地震や津波等の災害時や火災発生時には迂回道路がなく、交通渋滞を招き緊急車両等通行が遮断され、救急患者の搬送や応急対策にも支障を及ぼす状況にある。	鯺ヶ沢町から能代市間、延長約90kmの地域高規格道路候補路線である「西津軽能代沿岸道路」の早期整備が必要となっている。
3. 交通安全関連 急カーブ・急勾配の通学路線は、冬季になると凍結等によりバスが通れないことから保護者が近くの停留所まで送迎している状況にある。 また、徒歩通学においては歩道がないため回り道をしての通学を余儀なくされている。	スクールバス通学の当該路線については、現在、県が事業主体となって計画を進めており、地域住民が1日も早い完成を願っている。また、歩道の未整備箇所においても生徒の安全確保のためにも早期の整備が待たれている。

②-1 地域の現状と抱える課題

青森県鯉ヶ沢町

現 状	課 題
4. 克雪関連 融雪溝が市街地の一区間に設置され、除雪労力の軽減や通学路の安全確保などに大きな効果を発揮し地域住民に大変喜ばれている。 一方、設置区間外の市街地については、道路幅が狭いことや堆雪場所あるいは雪捨て場所の確保には、業者、一般住民問わずその対応に苦慮している	快適な雪国生活や交通事故防止、また、豪雪地帯におけるスムーズな除雪体制の確立のため融雪溝の設置や地域の実情に合った道路整備が必要としている。
5. 橋梁の維持管理関連 当町には橋長15m以上の橋梁が25橋ある。 平成21・22年度の2ヶ年計画で調査し、平成25年度までに橋の「長寿命化修繕計画」を策定、平成26年度以降必要な対策を講ずる予定としている。	調査結果を受けての補修、補強あるいは架け替等の対策が必要となるが、厳しい財政状況からその財源の捻出が課題となっている。

②-2 地域の目指すべき将来像

青森県鰺ヶ沢町

人が道から受けている恩恵は、計り知れない程大きいものがある。

もし道がなかったら、現在のような経済の発展はなかったかと思われる。

道路の整備状況によってはその地域の経済の発展に大きな影響を及ぼすものと考ええる。もちろん、経済力のみを重視したものではなく、防災・安全・安心・環境等にも十分配慮し、そして、地域の実情に合った道路整備を進めながら、「みんなで描こう21世紀のあじがさわ」を合言葉に、鰺ヶ沢に住んでいる人、住もうとしている人、誰もが自然や歴史と文化の豊かさを感じ、安心して暮らせるまちづくりを目指している。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

青森県鰺ヶ沢町

重点事項	代 表 事 例	期待する効果や評価等	そ の 他
地域活力の向上	地域のまちづくり委員会が自分たちの住んでいる地区内を調査し、問題点を探るとともに環境美化のためのゴミ拾いの実施や町への提言を行う。 調査項目はその年によって異なるが ① 通学路、歩道、側溝などの危険箇所 ② バリアフリーの有無 ③ まちづくりに活用できる素材 ④ まちのきれいなところ、汚いところ など	① 活動への参加による地域の連帯感 ② 世代間の交流 ③ 地域への愛着感 ④ 行政と地域住民の情報の共有と協働のまちづくり	